



# 小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和5年2月1日 第10号

小笠原村立小笠原中学校

校長 椎橋 秀行

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



## 「頑張りどころ」

副校長 坂本 司

新年を迎えたばかりのような気がしますが、もう2月。日々の移ろいの早さに驚かされます。小笠原中学校では、1月10日に3学期をスタートし、1年間の締めくくりの学期であるとともに、4月から始まる新たなスタートに向けての「0学期」として、生徒・教職員ともにまとめと準備に取り組んでいます。3年生は、卒業式まで残り2か月を切り、受験シーズン真っ只中となりました。それぞれが希望する中学校卒業後の進路に向けての「頑張りどころ」です。1・2年生にとっては、先日1月29日に3年ぶりに開催されました「第50回小笠原村ロードレース大会」が、ここ最近での大きな「頑張りどころ」だったのではないのでしょうか。小笠原中学校からも全校で参加し、女子が4km、男子が6kmの部に出場して、それぞれに力走しました。保健体育の授業で事前に長距離走の練習をしてきたものの、誰にとっても決して楽なものではなく、「息が苦しい」「お腹が痛い」「足が上がらない」など、辛い時間があったことと思います。遠い先のゴールに、くじけそうになったり、へこたれそうになったり。きっとそれぞれに「頑張りどころ」があったことでしょう。

人生の中には、いくつもの「頑張りどころ」が現れます。3年生の受験は、その中でも大きな「頑張りどころ」と言えるでしょう。学力試験であれば、教科の勉強をしたり過去問に取り組んだり、面接試験であれば、質問への回答を考えたり面接練習をしたり。ロードレース大会であれば、トレーニングして持久力を付けたり、実際のコースを試走してペースをつかんだり。合格や目標とする順位・タイムを目指して、必要な力を身に付け、身に付けた力を本番で十分に発揮できるように、ベストを尽くします。もちろん一人では思うように頑張れないこともあります。そういう時こそ、励まし合い支え合う仲間の力です。心が折れそうな時は、同じように頑張っている仲間とともに、周囲の応援に力を得ながら、ともに一緒に頑張れるようになってほしいのです。

「頑張りどころ」で頑張ることのできた経験は、その人の地力となったり自信となったりして、また次の「頑張りどころ」での頑張りに繋がっていくのだと思います。「あのときあれだけ頑張れたのだから、今回もきっと頑張れる、乗り越えられる。」生徒の皆さんにはそう思えるような経験をぜひ積んでほしいのです。

保護者の皆様、地域の皆様、ロードレース大会では生徒への大きな声援を誠にありがとうございました。皆様からのたくさんの温かい声援に、生徒は大きく背中を押していただきました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

## 12月避難訓練(不審者対応訓練)

生活指導部安全指導担当 小林 政輝

12月2日(金)の5校時に、校内に不審者が侵入したことを想定した避難訓練を行いました。今回の避難訓練では小笠原警察署にご協力いただき、不審者役をやっていただいたり、実際に小笠原警察署に通報し、パトカーで学校に駆けつけて不審者を取り押さえていただいたりしました。生徒たちは教室内で机や椅子を用いてバリケードを作ったり、教員はさすまで不審者が教室に入らないように防いだりしました。最後の質疑応答では生徒からたくさんの質問が出て、不審者対応について理解を深めることができました。島内での不審者情報は多くありませんが、いざというときに迷わず、冷静に動けるようにしましょう。最後に、ご協力いただいた小笠原警察署の方々へ深く感謝申し上げます。



## 第1学年 総合発表会

第1学年主任 小林 政輝

12月17日（土）に総合発表会が行われ、1年生は母島について一人一人がテーマを選び、調べたことについてプレゼンテーションソフトを用いて発表しました。自分の興味があるテーマについて、事前にインターネットや本で調べた内容や事前学習で出てきた疑問を母島移動教室で実際に見たり、ガイドさんに質問したりして疑問を解決し、それらをまとめて発表しました。また、発表方法も実行委員がアイデアを出し合い、ニュース番組形式で行いました。7つのジャンルをニュースのトピック、一人一人が調べた内容をニュースの記事と重ねてニュース番組のように発表を行いました。初めての総合発表会で緊張した面持ちでしたが、堂々と発表する姿は立派でした。自分たちで考えたからこそ、時間もかかり、大変と覚えることもあったと思いますが、その分、1年生らしい発表ができたのだと思います。また、先輩たちの発表を見ることで多くの学びもあったことでしょう。今回の発表会の経験を来年の発表に生かしていきましょう。



## 第2学年 総合発表会

第2学年担当 高部 みなみ

12月17日（土）に2学年総合発表会を行いました。前半は、小笠原の歴史の学習についてグループで調べたことを模造紙やスライドにまとめてワールドフォーラム形式で発表しました。本やインターネットで調べた内容に加えて、板長こと田中善八さんに案内していただいた夜明山戦跡調査、数年ぶりに行うことができた硫黄島訪島事業、硫黄島旧島民の会の楠明博さんや欧米系島民の瀬掘健さん、瀬堀ロッキさん、上部フローラさんのお話から小笠原の歴史についての学びをまとめました。後半は、職場体験の発表を行いました。職場体験で学んだことや感じたこと、自分にとって「働くこと」について自分の言葉でまとめ発表することができました。「人前に出て話すことが苦手」という生徒が多い2年生ですが、発表形式や発表内容を自分たちで選び、考え、自分たちの伝えたい思いをしっかりと伝えている様子に、昨年度からの大きな成長を感じました。



## 第3学年 総合発表会

第3学年担当 野内 由紀子

3年生は修学旅行についての発表を行いました。前半は、修学旅行の班ごとに奈良・京都・TGG (TOKYO GLOBAL GATEWAY) についての発表をしました。これから修学旅行に行く1・2年生に向けて、自分たちが体験したことやアドバイスを加えて発表をしました。後半は、自分たちが選んだ写真に合わせて、一人一人が修学旅行で学んだことや感じたこと、成長したことをしっかりと話し伝えることができました。3年生にとって中学校生活の最後の総合発表会。発表を聞いてくださった皆さんに成長した姿をお見せすることができたと思います。



## 生徒会長サミット

生活指導部生徒会担当 多久 優麗花

12月26日(月)に、東京都中学校特別活動研究会が主催する「第21回生徒会長サミット」が狛江市立狛江第一中学校にて開催され、本校の生徒会役員会も参加しました。「生徒会長サミット」には、都内の70校の生徒会が参加し、島しょ地区については、オンラインで参加することができました。参加校のうち2校が代表してスライドを使用して全体発表を行い、その後分科会に分かれて、各校の活動報告や質疑応答を行いました。全体発表をした中学校では、朝正門で生徒に向けたメッセージパネルを掲げてあいさつ運動を行ったり、地域の小学校に出向いたり、工夫がされていました。学校周辺のボランティア清掃など地域の方々との交流も行っているようでした。分科会では、小笠原中学校の様子を伝えたり、お互いの困りごとなどを相談し合ったりしました。普段なかなか知ることのできない他校の活動を知り、生徒会活動の今後の可能性に気付くことができました。今回の経験を経て、生徒会活動がより活発になることを期待しています。

## おが中生の活躍

### 「税についての作文コンクール」

社会科担当 矢代 祥大

東京税理士会芝支部から講師の先生をお招きし実施しました「租税教室」の学習を基に、社会科の夏休みの課題として取り組みました芝納税貯蓄組合連合会主催の「税についての作文コンクール」において、以下の生徒の作品が入賞いたしました。

【芝納税貯蓄組合連合会会長賞】大田 仁奈（3年）

（敬称略）

### 「第23回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」

美術科担当 湯本 美樹

美術科の夏休みの課題として取り組みました「第23回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」において、以下の生徒の作品が入賞いたしました。また、全員の作品が、おがさわら丸内デジタルサイネージに掲載され、福祉センターにも展示していただきました。海のそばで育つ小笠原中学校の生徒らしい作品でした。来年度も素敵な作品を期待しています。

【小笠原海上保安署長賞】持田 翼（3年） 【海上保安協会横浜支部長賞】松原 友香（1年）（敬称略）



### 「第75回英語学芸大会」

英語科担当 高田 奈々

11月に東京都中学校英語教育研究会主催の「令和4年度第75回英語学芸大会」がオンラインで開催され、小笠原中学校からも個人及び団体で参加しました。個人で挑戦しました第3学年の生徒は惜しくも選外となりましたが、団体で参加しました2年生と1年生の作品が入賞しました。

【Playの部 特別賞】The History of Ogasawawa（2年）

【Performanceの部 優秀作品賞】Welcome to Ogasawara（1年）

### 「第72回東京都公立学校美術展覧会」

国語科担当 野内 由紀子 美術科担当 湯本 美樹

2月14日(火)から19日(日)に東京都美術館において、第72回東京都公立学校美術展覧会が開催されます。小笠原中学校からは、以下の書写と美術の代表生徒の作品が、島しょ地区の展示場所に展示されます。

【書写】矢嶋 湊、池田 杏、綿引 夢恵（3年） 【美術】持田 翼、後藤 美咲（3年）（敬称略）

## 百人一首大会

国語科担当 野内 由紀子

1月17日(火)に校内百人一首大会を行いました。感染症対策を講じながら、源平戦と散らし取りの2種目で勝敗を競いました。1首でも多く取るために、自分の名前や好きなものと結び付けて歌を覚える姿が印象的でした。また、普段の授業ではできない他学年の生徒との試合もよい刺激になったようです。生徒の感想用紙には「3年生になって札に込められた思いを知ることができて、より百人一首を楽しむことができた。」「他の学年の人とやるときは相手の強さがわからないから面白かった。」「普段話さない人とも話せて嬉しかった。」「取り札を取られて悲しかったけどチームの人が慰めてくれて嬉しかった。」「3年生も1年生もとても強いので、それに負けないようにひたすら札を暗記することが必要だということがわかった。」「目指せ三連覇！先輩にも後輩にも負けないように協力をする！」と書かれていました。

百人一首(和歌)は日本の大切な文化の一つです。百人一首を通して、昔の人のものの見方や考え方を知ってもらえたら嬉しいです。

【団体の部(学年対抗)】優勝 第1学年

【個人の部】男子1位(名人位) 白倉 築(1年)

女子1位(クイーン位) 大田 仁奈(3年) (敬称略)



## 令和4年度 中学生人権作文コンテスト東京都大会 表彰式

国語科担当 野内 由紀子

学校だより11月号で紹介し、12月号に全文を掲載しました第2学年の猪村 汎乃さんの作品が、さらに東京都大会において優秀賞に入選し、12月25日(日)に九段第2合同庁舎で開催されました「令和4年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会表彰式」で表彰されました。都全体では297校から37,017編に上の作品が寄せられ、最優秀賞3名、特別優秀賞1名、優秀賞8名の中の一人として受賞しました。



## 2月行事予定

1日(水) 安全指導 食育講話 自転車安全点検 職員会議	12日(日) 漢字検定
2日(木) 都立推薦発表 SC勤務 新入生説明会・体験授業	13日(月) 振替休業日
3日(金) お弁当の日 展示準備	14日(火) 学校朝礼
6日(月) 学校朝礼 学校公開・展示始	15日(水) 部活動中止(24日まで) 職員会議
9日(木) 小中高連合運動会合同職員会議 小中高教科交流会 SC勤務	19日(日) 英語検定(二次)
11日(土) 建国記念の日 授業日 道徳授業地区公開講座・意見交換会 学校公開・展示終	20日(月) 学校朝礼 SC勤務
	21日(火) 都立一次・分割前期入試 SC勤務
	22日(水) 学年末考査1日目
	23日(木) 天皇誕生日
	24日(金) 学年末考査2日目
	27日(月) 学校朝礼 各種委員会・中央委員会